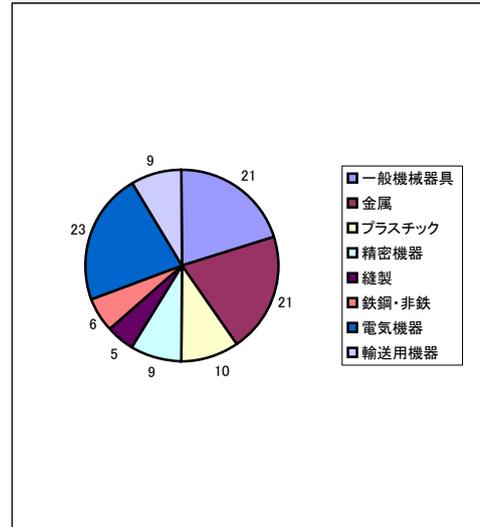


受注動向

- 調査時点 平成20年7月調査(20年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 回答企業 104社(回答率:69.3%)
(一般機器21社、金属21社、プラスチック10社、精密機器9社、縫製5社、鉄鋼・非鉄6社、電気機器23社、輸送用機器9社)
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

一般機械器具	21	20.6%
金属	21	20.6%
プラスチック	10	9.8%
精密機器	9	8.8%
縫製	5	4.9%
鉄鋼・非鉄	6	5.9%
電気機器	23	22.5%
輸送用機器	9	8.8%

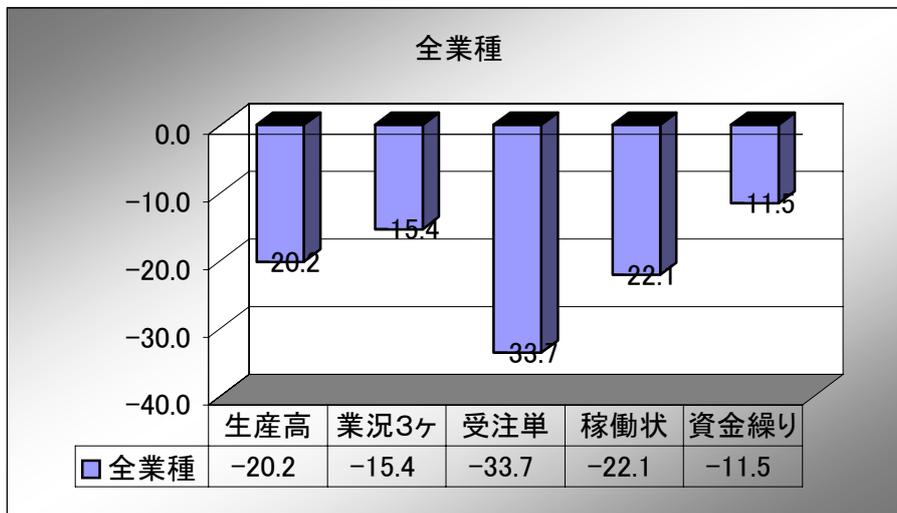


■ 全業種

生産高の対前年同月比は、▲20.2ポイント(前回▲18.6)と引き続き減産傾向で、稼働状況の対前年同月比は▲22.1ポイント(前回▲21.6)と横ばい傾向である。

業況3ヶ月先見通しは、▲15.4ポイント(前回▲13.7)と引き続き厳しい見通しで、受注単価の対前年同月比では、▲33.7ポイント(前回▲25.5)と一段と厳しい状況である。

資金繰りの対前年同月比でも、▲11.5ポイント(前回▲7.8)と悪化傾向である。



■ 生産高・稼働状況

生産高の対前年同月比は、「精密機器」33.3ポイント(前回0.0)、「プラスチック」▲10.0ポイント(前回▲42.9)で大幅な増加傾向である。一方、「縫製」▲60.0ポイント(同▲33.3)、「一般機械器具」▲28.6ポイント(同25.0)、「電気機器」▲39.1ポイント(▲25.0)と業種にばらつきがあるものの減産傾向である。

稼働状況の対前年同月比は、「精密機器」44.4ポイント(前回9.1)、「プラスチック」▲10.0(同▲42.9)、「鉄鋼・非鉄」▲16.7(同▲28.6)と大きく改善している。一方、「電気機器」▲34.3ポイント(同▲30.0)、「一般機械器具」▲33.3ポイント(同▲29.2)と引き続き悪化傾向である。

■ 受注単価・資金繰り

受注単価の対前年同月比は、「鉄鋼・非鉄」33.3ポイント(前回42.9)とやや悪化。「プラスチック」▲30.0ポイント(前回▲57.1)、「電気機器」▲43.5(前回▲50.0)とやや改善。「精密機械」「輸送機器」は大幅な悪化傾向である。「金属」は横ばい。

資金繰りの対前年同月比は「精密機器」11.1ポイント(前回0.0)、「プラスチック」▲20.0ポイント(前回▲42.9)、「輸送用機器」22.2ポイント(前回12.5)は改善傾向。「一般機械器具」「金属」は横ばい。「縫製」「鉄鋼・非鉄」「電気機器」は悪化傾向である。

■ 3ヶ月先見通し

業況3ヶ月先見通しは「精密機器」11.1ポイント(前回▲9.1)、「電気機器」▲4.3(前回▲30.0)、「輸送用機器」11.1(前回▲25.0)は大幅な改善傾向。「金属」▲33.3ポイント(前回10.5)、「プラスチック」▲30.0ポイント(前回0.0)で大幅な悪化傾向。「一般機械器具」「鉄鋼・非鉄」は横ばい。

